

能登半島地震 ボランティア報告書

情報学群知識情報・図書館学類 2年

金慧欣

1. 概要

石川県災害対策ボランティア本部を通し、穴水町で4月11日から12日に活動しました。活動内容は、災害ごみを軽トラックに積んで処理場に運ぶことです。

2. 活動動機

私は東日本大震災で津波被害を受けた市から来た同級生の話を通じて、災害の恐ろしさを知りました。日本は地震大国であり、いつどこで地震が発生し、自身が被災者になるかはわかりません。このような状況下で災害についてもっと理解したいと考えました。

3. 活動内容

穴水町災害ボランティアセンターで依頼のある家に軽トラックで向かい災害ごみを荷台に載せました。災害ごみの中にはまだまだ綺麗な輪島塗の食器や布団などもありました。依頼者に話を聞くと、蔵が半壊してしまい置く場所もなく、捨てるしかなくなってしまったようです。ある依頼者は、2階の筆筒、机を捨てるのが依頼でした。土足で家に上がり込み、二階の窓から大きい家具は分解し、小さい家具はそのまま投げて捨てました。依頼者にとって思い出のこもっている家具や服が破壊され捨てられることが切なかったです。

宿泊地は奥能登ベースキャンプでした。そこには地元住人や企業からの差し入れのご飯や生活用品、Wi-Fiがあり想像以上に快適でした。個別のテントの中で段ボールベットの上で寝袋を敷いて寝ました。

4. 感想

穴水町に行く途中の道路は陥落した後や修復している様子が見られました。町ではコンビニや郵便局も再開しており復興の兆しを感じました。一方で、全壊した家や屋根がビニールで覆われた家がところどころにあり、地震の厳しさも実感しました。この経験を通じて災害に対する理解を深められたと思います。